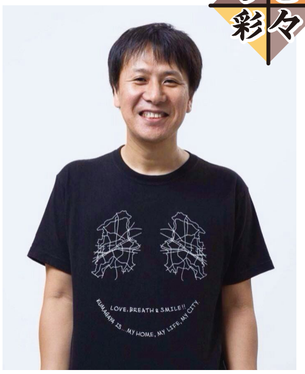
タウン タウン 小麦

特定非営利活動法人
発　行　くまがや小麦の会
発行責任者　日向美津江
ホームページアドレス
http://www.kumagayakomuginokai.jp/
くまがや小麦の会　検索

認定 NPO 法人
くまがや小麦の会
since 2006
事務局　〒360-0801　埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 24

ひと彩々



「FM・クマガヤ」
代表取締役社長　宇野元英（うのもとひで）さん

1979年3月4日、熊谷市生まれ。聖学院大学卒業。ロックバンド「マスララコミッショナー」のベーシストとして活躍。その後、地元の熊谷に戻り、音楽系フリーペーパーの発行や熊谷市観光協会職員として活動。自宅を改装したコミュニティースペース「キューノ」の運営で話題を集めた。同観光協会マネージャーを務めるとともに、熊谷市初のコミュニティーラジオ「FM.クマガヤ」代表取締役社長に就任した。

熊谷で発信すること

2009年より地域密着型フリーペーパー「パロ～ト」を発刊し、地域に特化した情報発信を進めた宇野さん。「地域に根付いた情報発信の重要性を感じた」と語る。更にその思いが強く意識づけられたのが、2011年の東日本大震災だった。宇野さんは、被災地でコミュニティFM放送が重要な役割を果たしていることを知り「やれることから始めなければ」という思いから、コミュニティFM放送局を立ち上げるための準備として「熊谷ヤバイラジオ」を立ち上げた。熊谷ヤバイラジオは、ミニFMとインターネットで地域に根差した活動を発信続けている。このラジオ局ではラジオ収録のほか、熊谷花火大会、全国ご当地うどんサミット、武蔵ヒートベアーズ、市内イベント等のPR動画配信を進め、市民参加型のメディアとしての役割を担っている。

FM・クマガヤ株式会社の始動

2018年4月5日、宇野さんを代表取締役社長として「FM・クマガヤ株式会社」を創立した。今、熊谷駅ビル「アズ熊谷」にスタジオが完成し、スタッフの研修や総務省への認可申請など、着々と準備を進めている。また、宇野さんの半生を綴った他叙伝「勝手に熊谷を背負う私」も刊行され、熊谷やラジオへの想いを熱く語っている。

同局は、地域情報をリアルタイムで毎日発信し、皆様から「愛されるラジオ」を目標として、毎日午前7時から午後10時まで1日15時間の生放送を計画している。

埼玉県・熊谷市が開催会場の一つであるラグビーワールドカップ2019日本大会を盛り上げるための方策を模索するほか、プロ野球独立リーグの埼玉武蔵ヒートベアーズの試合中継、地元の店舗やグルメ紹介、企業と連携した企画、お祭り、文化芸術、アート、イベントなど地域に密着した情報を放送する予定だ。

一方、運営資金については、1株5万円での出資を広く募るなど、他のラジオ局の手法を参考にしながら、継続的な運営に向けて取り組みを加速している。

宇野さんは、コミュニティFM放送局の大きな役割である防災・災害時・被災後の情報発信にも注目し、安心安全な街づくりに寄与したいと考えている。

そして、ラジオ局の役割から街の未来を見据えながら、宇野さんは「私たちは『人と人』『人と団体』『人と自治体』それぞれのコミュニケーションが円滑に成立していれば地域は活性化し、明るい未来を創造することができる」と意気込んでいる。熊谷発の新しい発信拠点となるラジオ局の躍進に向けて、多くの期待が寄せられている。（Y）

熊谷駅ビル「アズ熊谷」6F に完成したスタジオ

他叙伝『勝手に熊谷を背負う私』

麦笛

「にもかかわらず」

日向美津江

◆諏訪中央病院名誉院長の鎌田実先生の講演を聴く機会に恵まれた。先生は東京都杉並区に生を受けた。1歳で青森から上京して、タクシー運転手をしていた養父、病弱な養母夫婦の養子に出された。鎌田先生は37歳でパスポートを取るまで、養子であることを知らされず育った。都立西高等学校に進学し、医者になりたいと養父に相談したが大学は必要ない、ましてこんな貧乏な家庭で医師など無理だと何回も断られ、「にもかかわらず」説得を続け、遂に18歳の夏に自由に生きろと、進学が許された。鎌田先生は自由に生きられる事を有難く思い、希望していた医師の道、東京医科歯科大学医学部に進学した。その後の活動はチェルノブイリ、ベラルーシュ共和国への医師派遣、医薬品の支援、障害に対しても健常者と同じような活動が出来る手立てをボランティアとして続けておられる。講演料、講演後のグッズの販売にも精力的に取り組み支援に向けている。講演後、御著書、CDの販売に参加者が列を成した。

◆「にもかかわらず」の考え方は、生活の中、至る所で出くわす。自分に圧し掛かる壁に向って、良かれと思い自分の出来る事を行ってゆく。やるかやらないかだ。ここで黙っていれば難なく過ごせるものを、言ってしまう。貧乏で到底医学部は無理と思われるがでも進学してゆく努力をする。拘らなければ火の粉を浴びないのは判っていても、手を差し伸べてしまう。「にもかかわらず」の発想は個人の持つ価値観が突き動かしている人の営みなのか。周りの方に迷惑のかからない、自分で責任の負える事が範囲。とは言いながら「にもかかわらず」が出てきてしまいそうだ。

小麦の会 活動報告

8/10(金) くまがや平和寄席 熊谷市立文化センター文化会館

2年ぶりの開催を待ちわびていた寄席ファンのお客様で満席。笑福亭鶴光さんの落語や、ねづっちさんの漫談を楽しみ、当会製品も沢山お買い上げいただきました。ねづっちさんが気さくに写真をご一緒してくださいました。(R)

9/29(土) 落語&音楽 地域デビュー さいしんホール

埼玉県北部地域振興センター主催で、地域の活動紹介ブースでの販売でした。ホールの出演も地域で活動されている方々でした。収容人数が少ないため、販売は苦戦。小麦の会会員がお買い物に駆けつけてくださいました。(R)

10/3(水) 明神市 高城神社境内

今年の明神市は朝から天気に恵まれました。小麦の会の他の出店は年々少なくなるのが心配です。小麦の会は毎年の出店で顔なじみのお客様も沢山できてパンも地粉も完売で他のパウンドなども良く売れました。来年もよろしく。(I)

10/20・21(土・日) 第11回ニャオざねまつり 熊谷スポーツ文化公園熊谷ドーム

第11回目を迎えたニャオざね祭りも今年は"里山里海"という全国区のプロモーターが入り実施された。熊谷ドームの屋内、屋外にブースが設けられ、モーニング娘、堀内孝雄、その他多くのタレントが熊谷に来るとあってドーム周辺はムードが違う。熊谷ではお見かけしない観客が、Tシャツにアイドルの名前を書き込み潜んでいる。中年の男性が主流でアイドルが出演すると、どこからか湧いたように異常な人数が現れる。お除様で売り上げは上々でした。(H)

10/28(日) 第12回こうなん祭り
江南総合文化会館ビピア駐車場

市内で沢山のイベントが重なったため、例年よりお客様少なめでしたが、最後はこうなん祭り名物のサンバダンサーが盛り上げてくれました。パン販売はちょっと苦戦。日除のテントは商品に日が当たらず助かりました。(R)

11/9(金) 須田千香良プレゼンテーションコンサート さいしんホール

須田氏の素晴らしいチェロの演奏に加え、楽器の説明もしてくださって嬉しかったです。賛助出演の友清裕美さんのソプラノも素敵で、楽しい時間でした。ホワイエで小麦の会製品を販売。シュトーレンが人気で完売しました。チェロの体験レッスンについてはお問い合わせ下さい。
Tel090-3470-9338（須田）(R)

文化財で街おこし 『熊谷句碑物語』

「熊谷句碑物語」は熊谷市立江南文化財センターにおいてありますので興味のある方はご来観ください。

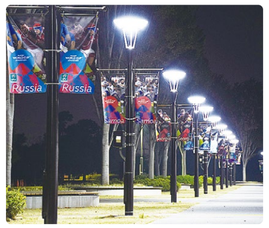
熊谷は古くから俳句の原点となる「俳諧」の文化交流が盛んであり、多くの俳人が熊谷を訪れたという歴史がある。また、江戸時代を代表する俳人、松尾芭蕉の俳句を顕彰する「芭蕉句碑」が複数建立されている。これらに加えて、近現代における熊谷の俳人の活躍を明らかにする句碑や、高浜虚子ら著名俳人が熊谷を訪れた足跡を示す句碑が多数存在している。2018年2月に亡くなった俳人・金子兜太氏の俳句を刻んだ句碑も7箇所に所在している。これらを含めた句碑群の全容を把握するため、各地を調査し、その写真と概要をまとめた「熊谷句碑物語」（発行：熊谷学ラボラトリー　執筆：山下祐樹）を刊行した。ご参照していただけたら幸いである。

（熊谷市立江南文化財センター　山下祐樹）

熊谷の道端から ～ゆるゆる散歩雑記帳～

夜の熊谷スポーツ文化公園にて

2019年のラグビーワールドカップ開催を控え、熊谷市では各処に横断幕やのぼり旗を掲げ歓迎ムードを盛り上げているが、会場となる熊谷スポーツ文化公園もドーム周辺に華やかなバナーがずらりと並ぶ。出場各国のバナーは、昼間の爽やかな雰囲気に対し、夜のライトアップされた状態で見るとナイター試合の一部を切り取ったかのようで躍動感が増す。来る一大イベントへの期待に満ちた一角、人もまばらな夜に散歩がてら眺めると、試合を独り占めする気分が味わえる(N・T)



あの町この店

株式会社 花堤本舗
食品製造販売
（五家宝 五家宝種 きな粉製造卸）
代表取締役会長　中條（なかじょう）育行

〒360-0823
埼玉県熊谷市榎町三番地
電　話　048-521-0471
ＦＡＸ　048-525-8675
営業時間　午前 8:00 ～午後 19:00
定休日　日曜日

今回お訪ねした花堤さんは元は菓子種製造として明治28年創業、創業120年を超える4代続く老舗のです。昭和50年代に五家宝の製造、販売を始め「中條菓子種工業（株）」から「（株）花堤本舗」へと社名変更されました。

五家宝は種と皮から出来ていて、皮はきな粉に水あめを混ぜ、種は餅を小さく切り乾燥させたものに麦芽糖を混ぜた種をくるみ、職人の方が年輪が浮き出た柾目の杉板を使って五家宝の生地を伸ばしていきます。3mくらいの長さ2本を作るのに8分弱、職人の方の手を休めないように次の行程を考え仕込みをする桶まわしという役割りが大事だそうです。季節や温度により微妙に皮や種に違いが出るのを感じながらの作業です。見学させていただきましたが本当に流れるように次々と五家宝が出来上がってきました。もち米を洗ってから製品になるまで8日間かかるとのこと、子供のころから親しんで何気なく口にしていたお菓子が大変な手間と時間をかけて作られていたことにビックリしました。もち米も大豆も原料から仕入れて製造しているので種に味をつける、皮に味をつけるなどいろいろ挑戦できるとのこと、色々なアイデアを考えるのは奥様の幸代さんで職人の方と一緒に試行錯誤しながら作っているそうです。「大部分が駄目だします」と明るく朗らかな奥様。

お店の中で目を引いた「黒蜜をかけて食べる五家宝」はきな粉を少し焦がし苦味をもたせて黒蜜の味を楽しむ、また10月末から販売を始めた「焦がし五家宝」は種を焦がして作っているのでとても香ばしく少し水分が少な目なのでしっかりとした噛み応えのある今までの五家宝と一味違う食感です。日本茶だけでなく様々な飲み物と一緒に食べられる和スイーツとして五家宝を捉えてほしいそうです。（K・H）

イベント出店予定

12月
16日(土)　ベアリス30km in立正大　立正大学熊谷キャンパス
25日(火)　熊谷特別支援学校パウンドケーキ講習会

1月
18日(金)　ワークホーム結　成人式　妻沼・江南

3月
24日(日)　第29回熊谷さくらマラソン大会　熊谷さくら運動公園陸上競技場
30日(土)～4/4日(木)
第20回全国高等学校ラグビーフットボール選抜大会

4月
27日(土)　第13回友山まつり　根岸家長屋門

5月
25日(土)　認定NPO法人 くまがや小麦の会 第13回定例総会

■ 会員募集
賛助会員年会費 10,000円　一般会員年会費 一口1,000円
お申込み：TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900

次号のお届けは 2019年4月の予定です。
編集室　TEL 048-521-7801　FAX 048-521-7900